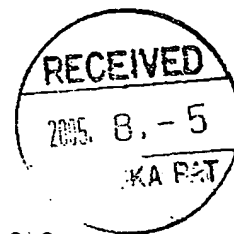


## 拒絶理由通知書



特許出願の番号	特願 2001-132928
起案日	平成17年 7月29日
特許庁審査官	圓道 浩史 9565 5E00
特許出願人代理人	大塚 康德 (外 3名) 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1乃至3及び6乃至8
- ・理由 1及び2
- ・引用文献等 1
- ・備考

引用文献1には、第7図に記載された重複設定相関図の内容に従って、所定の設定項目の状態変更を不可とするとともに、その理由を表示する画像形成装置が開示されている。

そして請求項1に係る発明は、引用文献1に記載された発明と比較して、発明の構成に差異がない。

また、請求項2, 3, 6, 7及び8に係る発明に対しても同じことが言える。

- ・請求項 4及び5
- ・理由 2

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。